

和泉式部

大茶会

令和二年三月一日(日) 十一時から十六時

会場.. 和泉式部 誠心院(新京極六角下ル)

呈茶料(お茶菓子付) 五百円 先着二百五十名

※呈茶はなくなり次第終了です 着物をお召しの方は無料

イラスト: 中川学



一、よさこいチーム花水葵の演舞

(十二時十五分、四十五分頃からろつくんプラザにて)

二、十二単撮影会

(十三時からろつくんプラザ華舞台にて)

三、芳村直也氏による雅楽器ライブ

(①十四時から、②十五時から)

和泉式部と誠心院

「霞たつ春きにけりとこの花を見るにぞ鳥の声も待たるる」

誠心院の初代住職が和泉式部です。和泉式部は天延二年(九七四)から天元元年(九七八)間に産まれたといわれる平安中期の女流歌人で、中古三十六歌仙の一人に数えられます。

冷泉天皇の皇子である為尊親王また彼の死後、弟の敦道親王などその他数々の恋愛遍歴がありその繊細な感性をたくさん恋歌として残しました。敦道親王とのやりとりをおさめた「和泉式部日記」が有名です。

晩年は、敦道親王との間に出来た娘、小式部内侍にも先立たれこの世の無情を感じ女人往生の術を求め、誓願寺の本尊阿彌陀如来の霊験を教えられ、二十五菩薩に迎えられ弥陀の浄土へ往生しました。



籠笛奏者 芳村直也

兵庫県神戸市在住。
日本三名泉 有馬温泉に拠点を置き、法人運営をする傍ら和楽器演奏家としても活動している。



よさこいチーム 花水葵

東京で活動。和泉式部の和歌と恋愛の物語をオリジナルの作詞作曲・振付で演舞。今回は選抜メンバーにて聖地新京極で踊ります。



※写真はイメージです

主催: 新京極商店街振興組合 協力: 和泉式部 誠心院

新京極は2022年に誕生150年を迎えます